

# 子宮頸がんを知って予防しましょう！

「自分には関係ない・・・」と思いませんか？  
あなたにも子宮頸がんリスクがあるのです。

## ★子宮頸がんは

子宮頸がんはHPV（※1）に感染してから数年かけてゆっくり子宮頸がんへと進んでいきますが、必ずしも子宮頸がんに発展するわけではありません。HPVに感染してもほとんどの場合は、自己免疫力によって消失されます。約10%の人では感染が持続し、自然治癒しない一部の人は前がん病変を経て、子宮頸がんへ進行します。そのため子宮頸がん予防のためには**定期的な検診**がとても重要です。

（※1）HPVとは

ヒトパピローマウィルスの略で「子宮頸がん」の原因とされるウィルスのことです。HPVは主に性交渉によって感染し、性交渉経験がある50～80%の女性が一度は感染するといわれている、ごくありふれたウィルスです。

HPV感染から5～10年以上かけて、一部ががんへと移行します。



子宮頸がんの  
リスクが分かる！

HPVが自然消滅すれば、  
細胞は正常に戻ります。

子宮頸がん検診で発見でき治療すれば、  
がんにはなりません。

細胞に異型変化が  
ないか調べる

### HPV検査

子宮頸がんを引き起こす  
14種類のハイリスク型  
HPV感染の有無を  
調べる検査です。



### 細胞診

子宮腔・頸部の細胞を  
顕微鏡で調べます。  
がん細胞や異型細胞  
(前がん状態)の段階を  
見つけます。



## ★HPV検査で陽性だったら

HPV検査で「陽性」だった場合、まずは医師による子宮頸がん検診（細胞診）を受けてください。その結果が「異常なし」であれば、HPV検査が陽性であっても驚くことはありません。

HPV検査で陽性の結果を受け、不安になる方がいらっしゃいますが、90%が自己免疫により自然消滅します。多くは一過性の感染ですが、気づかないうちに「前がん病変」や「がん」に進行しないように、**HPV検査で陰性を確認するまで一定の間隔で医師による経過観察を続ける必要があります。**

## ★子宮頸がんの最近の動向は？

年間2,920人、1日あたり8人が子宮頸がん  
で亡くなっており、罹患者数、死亡者数と  
もに近年漸増傾向にあります。特に**20歳  
～40歳の若い世代での罹患が増加**してい  
ます。（人口動態統計2019年）

子宮頸がんの罹患率と死亡率(日本人女性)  
(人/10万人)

